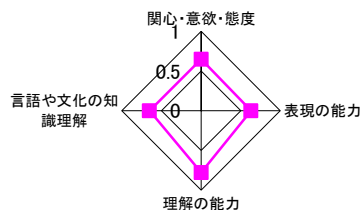


内容別・観点別の分析

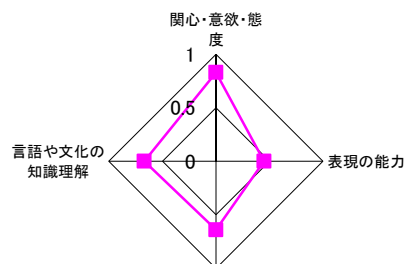
(様式2)

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	65%
表現の能力	63%
理解の能力	78%
言語や文化の知識理解	65%



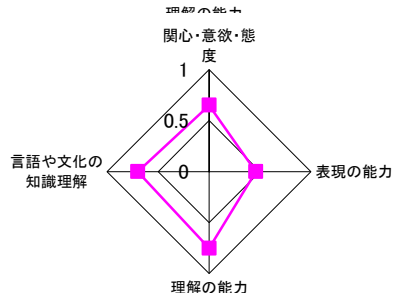
定期考査及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	83%
表現の能力	45%
理解の能力	64%
言語や文化の知識理解	67%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	65%
表現の能力	46%
理解の能力	75%
言語や文化の知識理解	70%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	オーラルイントロダクションを通していかに重要表現や文法事項を生徒に主体的に学ばせていくか、指導法や教材、教具も含め改善していく必要がある。	オーラルイントロダクションの成否は生徒のリスニング力と興味関心の高さに比例する。よって、ゆっくり丁寧に説明することや、使用する例文やトピックをリアルで彼らの生活に根ざしたものを選んでいくことが肝要である。また、理解不足な箇所は最小限の日本語で補足説明したり、簡単な英語に言い換えるなどして対応していく。	例えば英作文に取り組ませる際も、語句を並べかえるだけの問題や、ヒントが添えられたもの、さらにノーヒントのものや自分自身について自由に書くものなど1つの活動の中に補充的なものから発展的なものまで提示していく。
2年	・オーラルイントロダクションを用いて興味関心を引きつける。実際に重要表現や文法事項を入れて、生徒の表現活動のモデルとなるようにする。	・生徒のリスニング力を高め、オーラルイントロダクションで興味関心を引きつけられるように、学校生活等でよく話される内容を扱う。 ・表現の定着を図るために、毎時間の帯活動をすることで自然に定着するようにする。 ・ペアワークを含めスピーキングをする時間をなるべく増やす。	・補充的な学習に関してはテスト前に基本表現の復習をし、定着度を深める。 ・発展的な学習に関しては、自ら積極的に辞書を使い自分の表現したいことを増やしていく指導をする。 ・また、あらかじめ準備せず即興的にスピーチをする機会を増やす。
3年	・単元の単語テストやスピーキングコンテスト実施した結果、単語力は強化されてきているが、表現力や文章読解力にはまだまだ活かしきれていない。パターンプラクティスを充実させるとともに、自分の思いを込めるなど場面に合わせた自分なりの、意味ある英文を作らせる活動を増やす。	・表現の一つであるライティングに関してはワークなどを通して基本文の定着を図り、もう一方のスピーキングに関しては暗唱テストやオリジナルのスキットを作成させ発表させるなどの活動を増やしていく。	・補充的な指導に関しては小テストや追試を実施する。 ・発展的な指導に関しては、和英辞書を活用させ、より身近で主体的かつ実用的な英文を書かせていく。